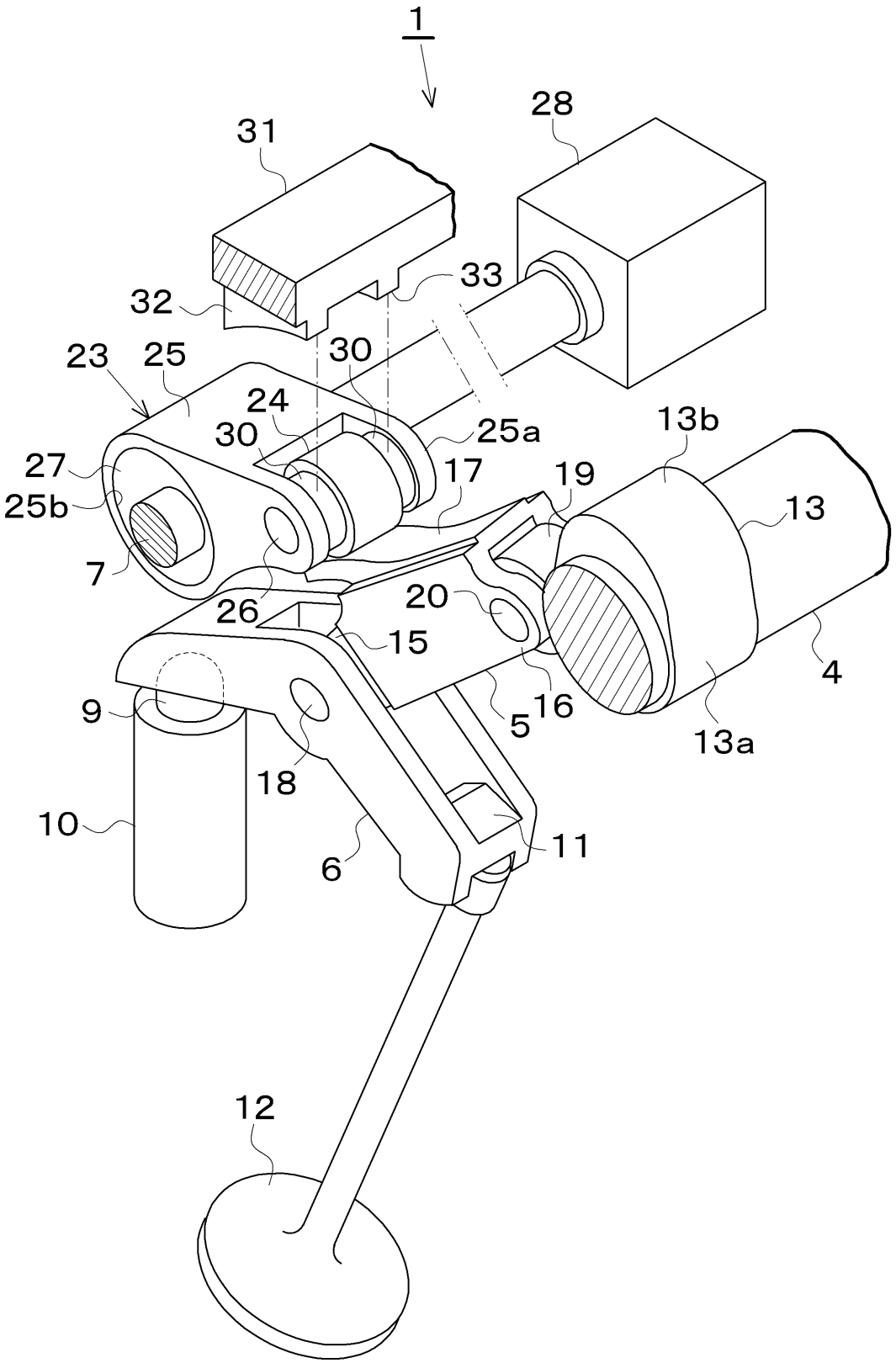
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成20年7月24日(2008.7.24)

【公開番号】特開2007-107511(P2007-107511A)
【公開日】平成19年4月26日(2007.4.26)
【年通号数】公開・登録公報2007-016
【出願番号】特願2006-10541(P2006-10541)
【国際特許分類】
Ｆ０１Ｌ　13/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ０１Ｌ　13/00　　３０１Ｋ

【手続補正書】
【提出日】平成20年6月9日(2008.6.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
変位カムは、シリンダヘッド（３）の上方において、カムシャフトとロッカアームと可変装置とで囲まれた領域内に配置されている。可変装置は、変位カムの上向きのカム面（１７，５３）に接触する接触子（２４）と、接触子とカム面との初期接点位置を変更する可変カム（２７，４４）と、可変カムを駆動するアクチュエータ（２８）と、接触子をカム面との間で案内する下向きの案内面（３３）を備えた案内部材（３１）とから構成されている。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３９】
この可変動弁機構５１によっても、案内部材３１がカム面５３との間で接触子２４を案内するので、カムシャフト４の動力の一部を接触子２４から案内部材３１側に逃がし、可変カム２７に作用する負荷を半減して、アクチュエータ２８を小型・低出力化することができる。また、変位カム５２に上向きのカム面５３と下向きの摺動面５４とを設けたので、変位カム５２の上下寸法を短くし、その直下にロッカアーム６を配置し、双方をシリンダヘッド３上にコンパクトな形態で設置できる利点もある。
【手続補正３】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図１
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図１】


1
28
31
33
32
23
25
30
24
25a
13b
27
30
17
19
13
25b
7
26
20
15
4
9
5
16
13a
18
10
11
6
12